

有識者構成員資料

教育未来創造会議第二次提言案について

令和5年4月27日
広島県知事 湯崎 英彦

- 第二次提言案のとりまとめにあたっては、構成員の皆様と有意義な議論をさせていただき感謝するとともに、我々の様々な意見を提言案としてまとめられた事務局を始め、関係の方々に心より御礼申し上げます。
- 本県では、今後、否応なくグローバル化が進む中において、新たな価値を創造する鍵は、多様性であると認識しており、国際感覚を持った「地域の成長・発展を支える人材」から「世界を舞台に活躍する人材」まで、多様で厚みのある人材層を形成することや、全ての人材が国際感覚を持つことが必要不可欠であると考え、乳幼児期から大学・社会人まで、一貫した人材育成の取組を進めてきた。
- 本提言案では、コロナ後のグローバル社会を見据えた人への投資の在り方について、厚みのある多様な人材を育成・確保し、多様性と包摂性のある持続可能な社会を構築することにより、我が国の更なる成長を促し、国際競争力を高めることなどが必要不可欠との考えのもと、今後の方向性や具体的取組、指標に至るまでが明確に整理されており、構成員の一人として高く評価できるものと考えている。
- 今後は、この提言内容の実現に向け、工程表の策定にあたっては、具体的なモデルイメージを提示するなど、その目的や施策内容、ターゲット及び実行主体等を明確にするとともに、フォローアップを適切に行い、省庁間で連携し政府一丸となって確実な実行に繋げていただきたい。